普及センターだより

2026.5月
第82号

[発行所] 香川県東讃農業改良普及センター
〒769-2401 さぬき市津田町津田930-2(大川合同庁舎内) TEL:0879-42-0190 FAX:0879-42-0196

「農業士」の活動を紹介します！



農業体験



現地検討会



農政水産部との意見交換会



新規就農者との情報交換会

高松地区農業士会(会員数 26 名)と大川農業士会(会員数 22 名)は、農業のプロとして優れた農業経営を行いながら、積極的に若手農業者を育成するなど、地域農業の発展を目指して様々な活動を展開しています。

農業士会の主な活動として、7月頃に新規就農者や就農希望者、関係者が一堂に集まって情報交換会を開催しています。また、農業士宅や新規就農者宅を訪問して、問題の解決に向けた助言やサポートを行っているほか、国や県の会議にも出席して幅広く意見交換を行い、農政についての提言や要望を伝えています。

香川県農業士等認定の対象としては、「農業士」は、おおむね 35 歳から 65 歳で、優れた農業経営や地域の社会活動に積極的に参加していること等を要件としています。「青年農業士」は、35 歳以下で、農業経営の経験が3年以上で、次代の担い手として、地域や集団における信頼度が高い者等となっています。いずれも各市町長からの推薦書を受け、知事が今後の活動を期待して認定しています。

農業を取り巻く情勢は厳しいですが、地域の農業を発展させ、技術を次世代につなげる活動を行っていただける農業者のみなさんの、農業士への認定・農業士会への加入をお待ちしています。

環境にやさしい農業技術を実証しました!

東讃農業改良普及センターでは、国が策定した「みどりの食料システム戦略」に基づき、環境負荷低減や省力化に役立つ技術の実証に取り組みました。
令和7年度に、ミニトマト、露地野菜(ブロッコリー・レタス)での成果を取りまとめ、マニュアルを作成しました。

マニュアルはこちら

「みどり認定」制度も推進中

ミニトマト



天敵「タバコカスミカメ」によるコナジラミ類防除や、微生物農薬の暖房機ダクト内自動投入による灰色かび病防除を実証しました。3月以降のコナジラミ類の発生や、灰色かび病の発生を抑えることができました。
また、濃度センサー制御を用いて、設定回数の低減と、収量の増加を実現できました。







露地野菜



マメ科緑肥「クロタラリア」や鶏糞の施肥量を増やし、収量・品質はそのままに、化学肥料を窒素成分で慣行の半量にすることができました。ただし、鶏糞の多量施用の連年投入は、リン酸や石灰の蓄積、土壌pHの上昇に注意が必要です。
また、育苗トレイへの殺菌剤灌注処理と、ドローンによる農薬散布により、防除の省力化が図れることを実証しました。









高温対策を実施しましょう

近年、夏季の猛暑、秋季の残暑が厳しく、高温・乾燥による生育不良が散見されます。気候に応じた高温対策を実施しましょう。

施設ミニトマトでは…



遮熱資材の塗布で芯止まり低減!

露地野菜では…



散水チューブの設置で
高温時期の灌水を省力化!

01 難防除雑草「ヒレタゴボウ」の防除対策!!



「ヒレタゴボウ」は、水田や湿地に発生する外来雑草で、近年増加しており、コンバイン収穫では、刈刃のいたみや詰まりによる支障が生じています。

田植え後の初期除草剤処理とともに中期除草剤の体系使用により、防除に取り組みましょう。

「ヒレタゴボウ」とは

一年生で種子によって繁殖し、水稲収穫時には稲より20~40cm程度草丈が高くなり、黄色い花が咲きます。種子は土壌中で長期間生存可能であり、翌年に再発生することから、難防除雑草とされています。



令和8年産水稲生産ほ場での防除対策

田植え後の初期除草剤と、中期除草剤を組み合わせた防除対策が重要です。田植後の初期除草剤を必ず散布したうえで、「ヒレタゴボウ」発生状況に応じて中期除草剤を体系的に使用しましょう。

★具体的な防除対策は、今後、水稲栽培講習会などで説明する予定です。

02 水稲低コスト・省力化栽培の取り組み

東讃管内では「再生二期作」や「直播栽培」などの低コスト・省力化栽培に取り組む事例もあります。県では、令和8年度から、これらの取り組みに対する支援措置を予定しています。

（★詳細は追って普及センターLINE等でお知らせします）

03 夏季の高温による水稲単収向上取り組み

近年、水稲生育期間中の高温により、米の粒張りが低下するなど、収量低下要因となっています。特に基肥一発肥料では肥料切れをおこし、単収などが低下する場合があります。

対策：（生育期間が平年より高温で経過した場合）葉色等を確認し、出穂直前に速効性肥料（化成肥料や硫安等）を窒素成分で1.5kg程度/10a施用し、品質や単収向上に努めましょう。

04 少雨対策としての節水栽培

昨年秋から少雨で経過しています。節水栽培に取り組むとともに、中干しは、田面に軽くひびが入り（1cm以内）、田面に立つと田植靴の跡が残り歩ける程度とします。

メリハリのある水管理をお願いします。



中干しは足目がつく程度

紹介 農業士 名誉農業士

名誉農業士



佃 和幸 様（高松市）
施設野菜・露地野菜

農業士



飯田 将博 様（さぬき市）
果樹・加工品



梶原 大介 様（さぬき市）
米麦・露地野菜・作業受託



藤井 健司 様（さぬき市）
施設野菜



荒井 悠貴 様（東かがわ市）
露地野菜・水稲
施設野菜・工芸作物

令和8年度、新しく香川県名誉農業士・農業士の称号が付与される方々です。※認定式は5月27日、県庁にて

『多様な農業人材経営計画認定制度』のお知らせ



県では、地域農業と農地を守るため、認定農業者などの核となる担い手の育成・支援に取り組んいますが、核となる担い手だけでは農地の維持が困難なことから、経営発展に意欲的な農業者を幅広く担い手として認定する県独自の取組みを行っています。

意欲的に農業に取り組み、地域の農地活用に貢献している兼業農家などがいらっしゃいましたら「多様な農業人材」の認定制度をご紹介ください。

今まで年2回の認定でしたが、**今年度から毎月の認定に変更になりました。**詳しくは、右の2次元コードからご確認ください。



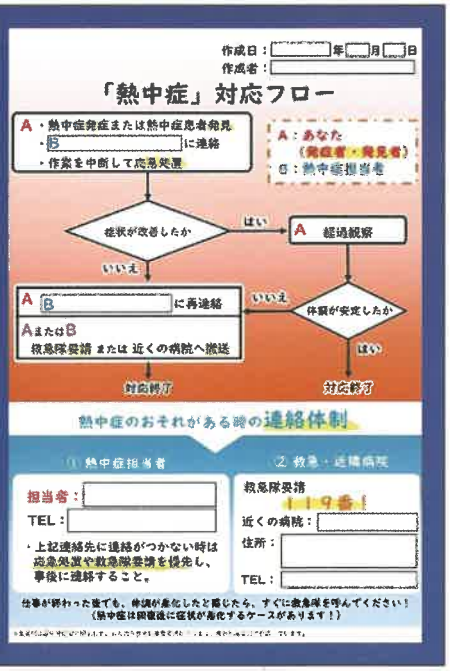
熱中症の防止について

近年、農作業中の熱中症による死亡者が急増しています。令和6年度は全国で59人が亡くなり、前年より22人の増加となりました。

労働者を雇用する全ての事業者に対しては、熱中症による死亡災害を防ぐため、熱中症のおそれのある労働者を早期に見つけ、適切に対処できるよう、令和7年6月1日より労働者への熱中症対策が義務付けられています。

右図の「張り紙」に必要事項を記載して事務所等に掲示・労働者に周知する、こまめに休憩と水分・塩分補給をする、単独作業を避ける、熱中症対策アイテムを活用する などを通じて、熱中症の発生に備えましょう。

「熱中症」対応フロー図の詳細は出典先である農林水産省HPを確認ください
https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/attach/pdf/nechu-82.pdf



東讃地区農業後継者クラブ連絡協議会に加入しませんか！


地域間での現地研修会

東讃地区農業後継者クラブ連絡協議会(会員数72名)は、若い農業者同士の交流や情報交換などを行う目的から、平成27年に東讃管内6つの農業青年クラブが集まり設立されました。

また、県内各地区の後継者クラブが加入する県団体(IFK)に加え、中四国の農業者とも交流を深めることができます。現地研修会や情報交換会等の活動を通じて、同じ課題を抱える農業者と出会い、お互いに資質向上を目指しています。

県内外で繋がりを作りたい、勉強熱心な方のご加入お待ちしています！

お知らせ 農業簿記会場について

令和8年度の高松地区農業簿記支援会場は、昨年度に続き、東讃農業改良普及センター2階パソコン室になります。

園芸総合センターは改修工事により使用できません。
ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。